

社会学科

何でも

ファンキング

甲南大学 文学部社会学科

20人（男性10人 女性10人）にアンケートを実施

好きな講義

1. TOEIC
2. 社会心理学
3. 菅先生の授業

大学への不満で一番多かったのは、「キャンパスが狭い」と言うことだった。確かに、甲南大学はキャンパスが狭く、グラウンドは六甲アイランドにあるため、バスでの移動が必要。また、キャンパス内の食堂も狭く、昼休みには学生で溢れかえる。

駅からの距離は一〇分ほどでそれほど遠いとも言えないが、中途半端な距離が学生を大学まで遠いという気持ちに錯覚させるのだろうか？

大学への不満

1. キャンパスが狭い
2. 学費が高い
3. 駅から遠い

一位に輝いたのは、意外にも専門科目ではなく、英語のTOEICの授業だった。甲南大学の言語の授業は自分のレベルにあった授業が受けられるようにクラスが細かく分けられているので、これが人気の理由かもしれない。

社会学の科目では、「社会心理学」と「菅先生の授業」がランクイン。菅先生の授業はいくつかあるが、どれも面白いと評判である。授業の内容だけでなく、菅先生の語り口や、キャラクターも人気に関係しているのだろう。

社会学のいいところ

1. 仲がいい
2. 授業が楽
3. 個性豊かな

社会学のいいところを聞いて、ダントツで多かったのが「仲がいい」！社会学科は一学年で百人ちよっとと人数が少なく、みんなが顔見知り。大学の色んな学部学科の中で、一番仲良しでは？

「授業が楽」というのは、人によって感じ方も様々。でも個性豊かな教授たちが繰り広げる授業は楽しいものが多いので、楽に感じるのかも！

食堂の人気メニュー不動の一位は「天津飯」！甲南大学の食堂のメニューで常に人気です。価格もMサイズで三〇〇円ととてもお手頃。

ボリュームもあり、学生のお腹を満たしてくれます。

二位の唐揚げもとても人気があり、一部に毎日のように唐揚げを注文するというコアなファンも存在するほど。二五〇円です。

カレーと言えば学食の定番メニュー。甲南大学の食堂では、普通のカレーだけでなく、昔ながらのカレーや、カツカレーと言った様々な種類のカレーが存在します。一度食べ比べをしてみてもうどうでしょう？

好きな学食メニュー

1. 天津飯



2. 唐揚げ



3. カレー

